

天小だより

命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校

令和8年1月7日

伊丹市立天神川小学校

校長 徳田 達郎 【天小ホームページ】



新年、明けましておめでとうございます

清々しい空気の中、いよいよ3学期が始まりました。

始業式では、子どもたちと新年の挨拶を交わし、この1年の目標設定について考えました。

■「1年の計は元旦にあり」の2つの意味

式の中では、古くからの言い伝えである「1年の計は元旦にあり」という言葉を紹介しました。

ここでいう「元旦」とは1月1日の朝を指します。

そして「計」という字には2つの大切な意味が込められています。

①計画の「計」：物事を始めるにあたって、まず最初に目標を決めるという意味です。

②合計の「計」：1年が終わる時の「合計」を最高のものにするために、最初の計画が大切であるという意味です。

この1年を締めくくる時に「最高だった」と思えるように、まずはしっかりと目標を立てることが重要です。

■校長自身の目標

私自身の今年の目標は、「全校児童576人全員の名前を覚えること」、そして「名前を呼んで挨拶をすること」です。一人ひとりと心を通わせる挨拶を積み重ねることで、命が輝き、笑顔があふれる天神川小学校につながると信じています。

■なりたい自分を思い描いて

児童の皆さんも、この1年を最高のものにするために、どんな目標を立てるかじっくり考えてみてください。「書いたとおりの成長が約束される」という前向きな気持ちで、自分の目標を決めましょう。3学期は、次の学年への大切なステップとなります。一日一日を大切に過ごしていきましょう。

■豆知識 始業式の目的

学校で行われる始業式などの儀式的行事は、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清らかな気分を味わうために行われます。これにより、新しい生活への気持ちの切り替えを図るという学習指導要領に基づいた教育活動の1つです。